

～平成 31年度 教員研修会や活動報告会、減災教育フォーラムに参加した助成校の先生方から～
ご意見や全国の学校へメッセージ

- 防災教育は未来を考える教育だとわかりました。防災教育は笑顔で行ってもよいのか不安に思っていたのですが、その不安が消えました。
- ひとりひとりの教員の資質向上、これから未来を築く子どもたちのための学びが多い研修です。
- 中学校は全教科で防災教育に関わることができるので、活動は広くできると思う。
- ぜひ、多くの先生方に参加していただき、学び、気づき、視野を広げてほしいと思います。9月、2月の2回の研修を行うことにも意味があると思いました。
- 「安心感を与える教育」、「未来を考える教育」。そのメッセージがとても心に残りました。防災・減災の見方を変えていく必要があると感じました。学び多きプログラムに本当に感謝いたします。
- 熱意を持ち、独自の取り組みをしている多くの先生と交流し、話を聞くことができる貴重な機会だと思います。
- 「百聞は一見に如かず」これにつきます。肌で感じ、本気で考える機会が我々には必要です。
- 義務感で、なんとなく防災教育に取り組まれている学校があれば、ぜひこのプログラムに飛び込んでいただきたい。東北の子どもたち、被災地の姿を学ぶことにより、180度価値観が変わります。
- どの学校も金銭面では厳しい中、助成金はありがたく、防災教育を始めるきっかけになると思います。ぜひ、多くの学校で活用していただきたいです。
- 実際に見てみないとわからないことがたくさんあります。全国の実践や先生方の熱意に触れることは、自分が頑張る大きなエネルギーになります。
- 教員が新しいことにチャレンジして知識を広げることは、子どもを育てる力、子どもに与えられる情報の発信力を高めます。防災について知識がないからこそ、チャレンジしてみるとよいですよ。
- 三現主義(現場を見て、現物から現状を知る)で減災教育をデザインできる素晴らしいプログラムです。
- 新学習指導要領だけでなく、多くの企業も注目しているのが減災に対する取り組みです。減災に関する取り組みを学校で行うことが最も大切だと思います。このプログラムに参加できて、本当によかったです。感謝しております。
- 減災教育を反対する人はいないと思います。ただ、それを進めるには資金が必要です。このプログラム、助成金のおかげで防災甲子園でも入賞できました。
- 防災・減災教育について学べるだけでなく、教職員としての情熱や、子どもたちとの接し方、地域を考えることなど、多くのことを学び、気付かせてくれる研修なので、ぜひ参加をお勧めします。
- 防災教育を実践することによって、子供が主体的に動くようになり、地域との連携も強くなった。学校教育全体にプラス面が大きい。